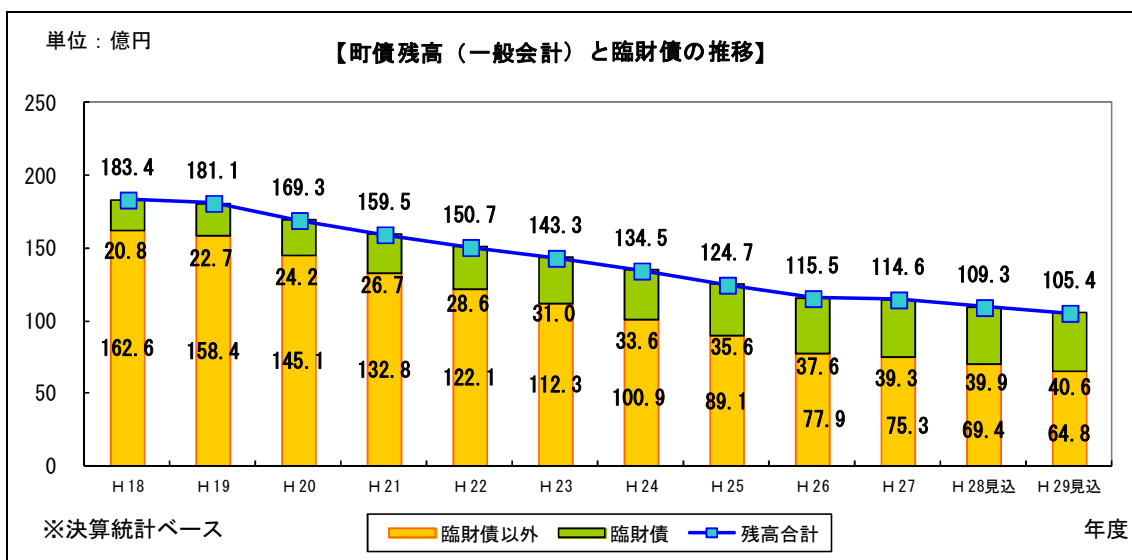
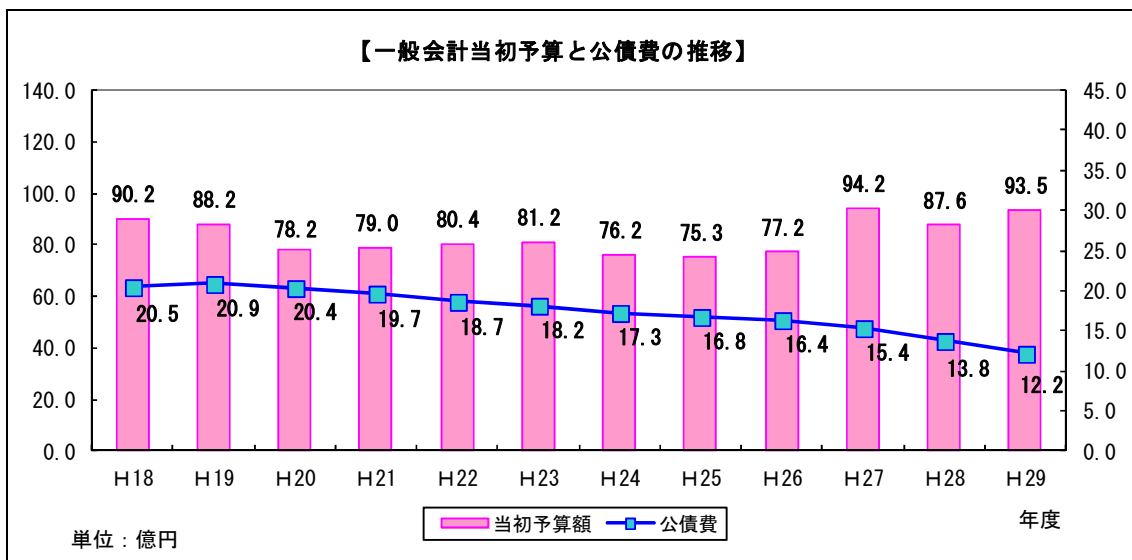
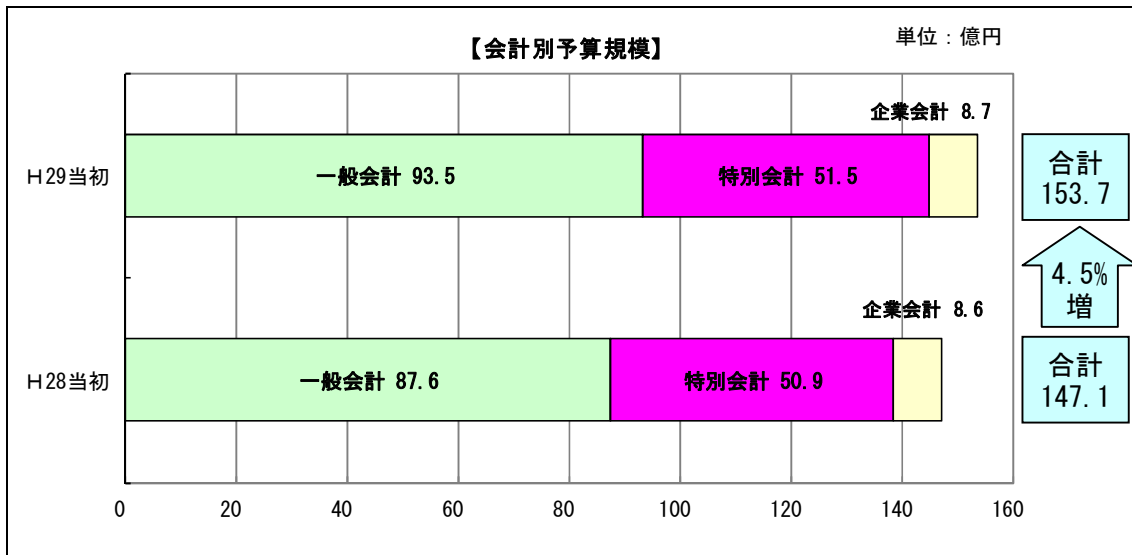
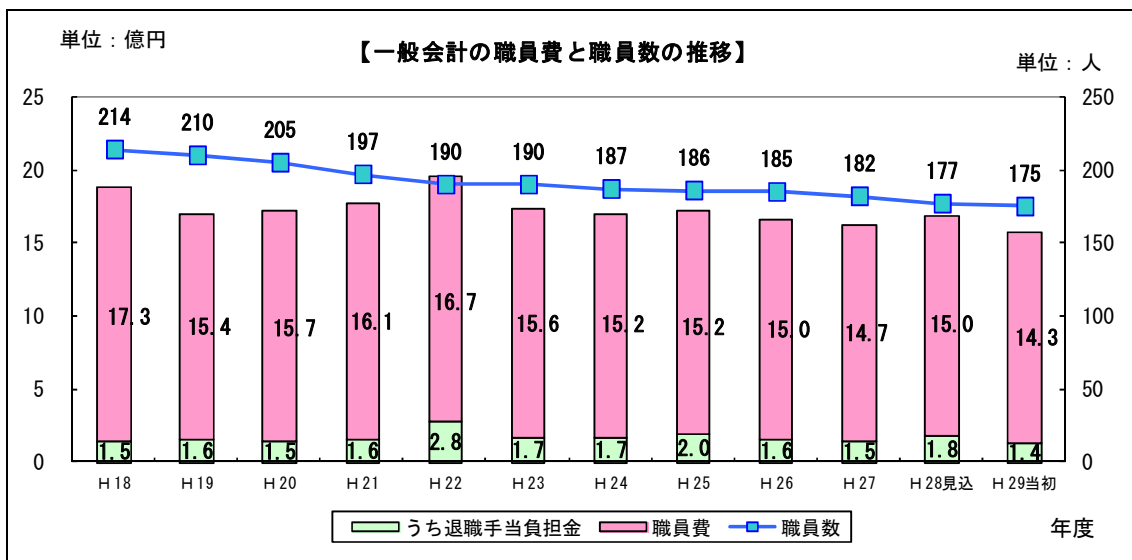
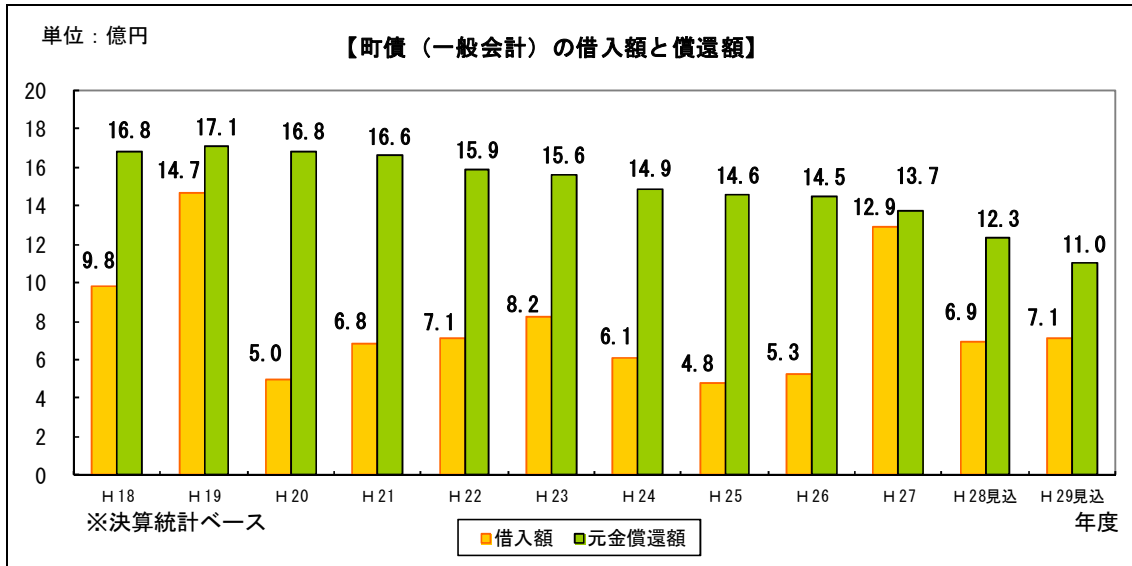


平成29年度
当初予算の概要（資料編）

当別町企画部財政課

■ 平成 29 年度 一般会計当初予算の全体像





性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・％）

性質別名称	平成29年度		平成28年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	7,268,901	77.7	7,264,164	82.9	4,737	0.1
義務的経費	3,657,501	39.1	3,869,089	44.2	▲ 211,588	▲ 5.5
人件費	1,654,096	17.7	1,744,967	19.9	▲ 90,871	▲ 5.2
扶助費	782,626	8.4	745,210	8.5	37,416	5.0
公債費	1,220,779	13.0	1,378,912	15.8	▲ 158,133	▲ 11.5
その他	3,611,400	38.6	3,395,076	38.7	216,324	6.4
物件費	1,247,391	13.3	1,148,426	13.1	98,965	8.6
維持補修費	366,934	3.9	345,098	3.9	21,836	6.3
補助費等	1,997,075	21.4	1,901,552	21.7	95,523	5.0
その他経費 (B)	1,325,646	14.2	1,201,515	13.7	124,131	10.3
積立金	500,242	5.4	400,443	4.6	99,799	24.9
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰出金	795,404	8.5	771,072	8.8	24,332	3.2
貸付金	30,000	0.3	30,000	0.3	0	0.0
投資的経費 (C)	748,350	8.0	290,502	3.3	457,848	157.6
普通建設事業費	748,350	8.0	290,502	3.3	457,848	157.6
補助事業	131,032	1.4	112,877	1.3	18,155	16.1
単独事業	604,311	6.4	171,966	1.9	432,345	251.4
道営事業	7,250	0.1	0	0.0	7,250	100.0
受託事業	5,757	0.1	5,629	0.1	128	2.3
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
合計 (A)+(B)+(C)+(D)	9,347,897	100.0	8,761,182	100.0	586,715	6.7

平成 29 年度 当初予算における主な事業【部署別】

※（ 千円）は、前年度当初予算額

【 総 務 課 】

○防災資機材等備蓄事業 （継続）

事業費： 3,349 千円（ 1,361 千円）

災害の発生に備えて、応急対応としての食糧及び生活用品等の支給が行えるよう、必要な資機材を備蓄する。

【 税 務 課 】

○徴収対策の充実(コンビニ収納サービス) （継続）

事業費： 1,359 千円（ 1,260 千円）

町税等の納付手段拡充による町民サービスの向上及び収納率の向上を図るため、役場や金融機関が閉庁（店）となる夜間や休日でも町税等を納付することができるコンビニ収納サービスを実施する。

【 企 画 課 】

○ふるさと納税推進事業 （継続）

事業費： 272,695 千円（ 217,184 千円）

年々寄附件数及び寄附額が増加しており、引き続き当別町の農産物や加工品等の記念品を全国各地に送り届けることで当別町のPRに努め認知度向上につなげる。

○当別町コミュニティバス運行事業 （継続）

事業費： 21,869 千円（ 12,000 千円）

「当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。なお、今年度は新たな路線として「（仮称）西当別道の駅線」の実証運行を行う。

○当別町・レクサンド市姉妹都市提携30周年記念事業 （新規）

事業費： 8,400 千円（ 0 千円）

スウェーデン王国レクサンド市との姉妹都市提携30周年にあたり、10月にはレクサンド市から60名程度の訪問団が来町されることから町全体で歓迎の意を表すとともに、今後より一層の両市町の親善と友好につなげていくため、30周年記念事業を実施する実行委員会に補助金を支出する。

○当別町・新篠津村特別区連携プロジェクト事業（継続）

事業費： 2,000 千円（ 6,500 千円）

石狩管内の町村である当別町・新篠津村とが連携して、地域の知名度向上のため、東京都中野区において特産品の販売などによりPRを行うとともに、実際に来ていただき、2町村の魅力を体験してもらう事業を実施し、交流人口の増加や移住・定住につなげる。

○北海道医療大学連携推進プロジェクト事業（新規）

事業費： 2,000 千円（ 0 千円）

北海道医療大学と当別町との包括連携推進のため、医療大学生の町内居住を推進するプロジェクトなどの取り組みを共同で行うため、負担金を支出する。

○交流人口増加推進事業（継続）

事業費： 1,500 千円（ 0 千円）

町外からの誘客を促し、もって交流人口の増加を図るため、町内各団体及び企業等による実行委員会が主体となった当別町の魅力溢れるイベントを開催するための補助を行う。

【 財 政 課 】

○公債費（継続）

事業費： 1,220,779 千円（ 1,378,912 千円）

実質公債費比率が高いことから地方債発行を計画的に行っており、公債費は毎年減少している（△158,133 千円）。

- ① 長期債元金償還金： 1,098,102 千円（△131,594 千円）
- ② 長期債利子償還金： 119,677 千円（△26,539 千円）
- ③ 一時借入金利子： 3,000 千円（ 0 千円）

※平成 29 年度 地方債発行見込み(当初)

■（仮称）当別道の駅整備事業債： 225.9 百万円	■林道整備事業債： 6.3 百万円
■豪雪対策事業債： 10.5 百万円	■道路等整備事業債： 51.4 百万円
■河川等整備事業債： 45.0 百万円	■学校給食センター改修事業債： 17.9 百万円
■西当別小学校改修事業債： 16.1 百万円	■臨時財政対策債： 340.0 百万円
（合計：713.1 百万円）	

【 道の駅推進室 】

○（仮称）当別町道の駅建設工事（継続）

事業費： 413,295 千円（ 20,000 千円）

（仮称）当別町道の駅建設工事（建築主体・電気設備・機械設備）を行う。

○当別町地域間交流拠点施設指定管理事業（新規）

事業費： 41,747 千円（ 0 千円）

（仮称）当別町道の駅の管理運営について、指定管理者制度を導入する。

○地域商社推進事業（新規）

事業費： 33,000 千円（ 0 千円）

（仮称）当別町道の駅の管理運営主体をはじめ、地域商社の役割を担い地域経済活動の活発を目的として設立した(株)tobe(地域商社)による「特産品の改良開発・販路開拓」、「インバウンド観光客の周遊促進」の事業実施に伴う負担を行う。

○（仮称）当別町道の駅プロモーション事業（新規）

事業費： 6,000 千円（ 0 千円）

（仮称）当別町道の駅に多くの来場者が訪れ、早期に道の駅の経営安定化を実現すべく、各種プロモーション事業を行う。

【 エネルギー政策室 】

○当別町産木質ペレット製造実証事業（新規）

事業費： 545 千円（ 0 千円）

町内の豊富な森林資源を活用した木質バイオマス燃料（ペレット）製造の事業化に向け、主要木材であるトマツのペレット原材料としての適性を検証するため、製造実証及び成分分析を実施する。

○エネチャレンジ(町民節電所)事業（新規）

事業費： 106 千円（ 0 千円）

環境負荷の軽減や町民の環境意識の向上を図り、町内の省エネルギーを促進するため、町民を対象とした電気使用量削減割合を競うエネチャレンジ（町民節電所）及び、小学生を対象とした省エネアイデアコンテスト（キッズエネチャレンジ）を実施する。

【 環境生活課 】

○町内会街路灯LED化事業（継続）

事業費： 4,921 千円（ 3,352 千円）

地球環境へ負荷の少ない省エネルギーの LED 街路灯の設置を促進し、町内会の経費削減、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進するため、町内会街路灯の LED 化への補助を実施する。

○消費者行政事業（継続）

事業費： 4,576 千円（ 4,481 千円）

町民が全国で増大している特殊詐欺を含む消費者被害にあわないことや消費生活のトラブルに巻き込まれないよう、消費生活相談員を配置した消費生活相談窓口を設置するとともに、町内関係機関と設立した消費者被害防止ネットワークを活用し、消費者被害の未然防止を図る。

○町内会運営費補助金（継続）

事業費： 11,175 千円（ 11,906 千円）

町内会活動は防犯、交通安全、高齢者の見守りなどだけでなく、町民を災害から守り、安心安全に暮らすことのできるまちづくりに非常に重要な役割を果たしており、地域の根幹を支えるコミュニティである町内会活動の推進を図るため、活動経費への補助を実施する。

○石狩市廃棄物処理施設等負担金（継続）

事業費： 96,623 千円（ 110,673 千円）

当別町内で収集した家庭系及び事業系のごみ（資源物を除く）と死亡犬の石狩市（北石狩衛生センター）への処理委託及び北石狩衛生センターのし尿処理施設閉鎖にかかる負担金。

○札幌市し尿等処理委託事業（継続）

事業費： 28,749 千円（ 12,126 千円）

当別町内で収集したし尿及び浄化槽汚泥の処理を札幌市（札幌市クリーンセンター）に委託する。

【 住 民 課 】

○後期高齢者医療事業（継続）

事業費： 213,422 千円（ 203,207 千円）

資格管理や給付申請といった各種申請の受付及び保険料の徴収を行ない、運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合と共に被保険者の方が安心して医療を受けられる制度を支える。

○特定健康診査・特定保健指導等保健事業（継続）

事業費： 41,922 千円（ 41,186 千円）

データヘルス計画に基づき、特定健康診査の受診率向上を図るために、個別受診勧奨や町内会への啓発活動等の保健事業を実施するとともに、健診検査項目の追加を継続し、その結果を基に、保健師・管理栄養士等による特定保健指導等保健事業により、生活習慣病予防と疾病の重症化予防に努める。

【 福 祉 課 】

○地域包括支援センター事業 （継続）

※介護保険特別会計

事業費： 30,117 千円（ 22,159 千円）

地域の総合的・制度横断的な相談支援窓口として、介護予防ケアマネジメント等を実施するとともに、地域の生活支援等の体制整備を推進するため、生活支援コーディネーターをセンター内に配置し、地域の誰もが住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、医療や介護と生活支援等のサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を目指す。

○地域生活サポーター活動支援事業 （新規）

※介護保険特別会計

事業費： 2,196 千円（ 0千円）

生活に支援を必要とする高齢者に対し、家事支援や外出支援等を提供する有償ボランティア制度を確立し、子育て中の主婦や、生きがいや役割を持ちたい高齢者等、幅広い生活支援の担い手として地域生活サポーター（有償ボランティア）を養成するとともに、その活動に対しボランティアポイントを付与し活動を支援する。

○買物支援事業 （新規）

※介護保険特別会計

事業費： 2,130 千円（ 0千円）

買物に困難を抱え閉じこもりがちな高齢者に対し、有償ボランティアによる御用聞きサービスを実施し、買物の支援と地域で孤立する高齢者の見守りを実施する。また、ボランティアポイントを当別町商品券に転換できる仕組みを構築し、地元商店及び町内消費の活性化を図る。

○高齢者クラブ活動事業補助金 （継続）

事業費： 1,399 千円（ 1,413 千円）

町内の高齢者クラブ及び当別町高齢者クラブ連合会が実施する事業に対し補助を行い、高齢者の知識及び経験を生かした、生きがいや健康づくりの推進と地域社会への貢献活動を支援する。

○障がい福祉サービス給付事業 （継続）

事業費： 493,373 千円（ 460,517 千円）

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、居宅介護や施設入所、就労支援等の生活・療養上の必要なサービスの給付を行う。

○障がい者地域生活支援事業 （継続）

事業費： 24,182 千円（ 22,090 千円）

障がい者が地域で安心していきいきとした生活を送れるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による相談支援や移動支援、日中一時支援、日常生活用具給付等の事業を実施する。

【 保 健 課 】

○妊娠・出産相談支援事業 （継続）

事業費： 1,421 千円（ 2,962 千円）

妊娠期から生じる体調や育児への不安に対応するため、すべての妊産婦へ出産前後に保健師などが家庭訪問を実施する。その後の乳児期・幼児期にある子どもとその保護者の身近な場所での相談や情報提供を実施するとともに、保育や支援機関などと連携し、切れ目のない支援体制の強化を図る。

○妊産婦健康診査等交通費助成事業 （継続）

事業費： 1,020 千円（ 0 千円）

妊産婦が安心して妊娠・出産できる環境をつくるため、健康診査及び出産を対象に、町外産科医療機関を受診する際の交通費の一部を助成し、支援を強化する。

○乳幼児等医療費助成事業 （継続）

事業費： 12,336 千円（ 12,571 千円）

既存の北海道医療給付事業に基づく医療費助成対象枠の拡充を継続し、通院は課税・非課税の区分を撤廃し小学校就学前までのほぼ全ての世帯が初診時一部負担のみ、入院は高校卒業まで対象学齢を引き上げたうえ全額無料とし、医療費を助成することで次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する。

○小児期インフルエンザ予防接種事業 （継続）

事業費： 1,047 千円（ 1,228 千円）

中学生以下の町民に対し、インフルエンザ予防接種の接種費用を助成することにより、接種希望者が接種しやすい体制をつくるとともに、インフルエンザによる重症化予防を図る。

○小児期定期予防接種事業 （継続）

事業費： 19,515 千円（ 17,813 千円）

子どもの感染症を予防するため、麻しん、風しん、小児用肺炎球菌等の予防接種を実施する。予防接種を受けやすい体制をつくり、集団の流行を予防するとともに、個人の罹患及び重症化予防を図る。

○内科系救急医療・在宅当番医運営事業（継続）

事業費： 26,594 千円（ 24,259 千円）

内科系の救急医療体制を町内の医療機関で維持することで、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの基盤を確保し、町民の安心・安全を図る。

○がん検診事業（継続）

事業費： 14,508 千円（ 16,099 千円）

がんの早期発見・治療のために、特定の年齢の方に、がん検診の大切さの普及啓発及び受診勧奨や子宮頸がん検診・乳がん検診の無料クーポンを発行する。また、特定健診と5つのがん検診を同日に受診することができる（仮称）総合健診を新たに実施し、町民が受診しやすい体制整備に努め、受診率の向上を図る。

○健康づくりセミナー事業（継続）

事業費： 903 千円（ 621 千円）

住民や関係者と学びを深め健康課題の共有や検討を行うため、「健康寿命の延伸」と「上手な医療のかかり方」をテーマに講演及びワークショップ形式の健康づくりセミナーを開催する。とうべつ健康プラン21（第2次）の中間評価の年であり、セミナーで意見交換された内容を、計画の見直し及び今後の推進に生かす。

【 農 林 課 】

○当別町農業10年ビジョン確立加速化事業（継続）

事業費： 3,100 千円（ 3,100 千円）

当別町農業10年ビジョンが目指す「儲かる農業」の実現のため、収益性の高い野菜の新規導入及び拡大に向けて、JAによるビニールハウス購入経費を補助する取組を支援する。

また、土地利用型農業の省力化及び低コスト化を目的として、町内に設置したGPS基地局を運用する協議会を支援し、先進技術を活用したスマート農業の普及を推進する。

○軽トラ・マーケット事業（継続）

事業費： 358 千円（ 372 千円）

町内及び札幌市内において、新鮮野菜や花きを販売する軽トラ・マーケットの開催や各種イベントへの出店により、当別町の農産物の認知度向上と販売促進を図る。

○輪作体系確立支援事業（新規）

事業費： 2,500 千円（ 0 千円）

農業産出額の向上を目指し、多収量高品質な農産物の生産を図るため、適正な輪作体系の構築に必要な機械整備に対して支援する

○農業農村整備事業（継続）

事業費： 76,122 千円（ 73,217 千円）

農業振興地域の保全などを目的とした、農用地の基盤整備（土地改良）事業等における元利償還金。

○多面的機能支払交付金（継続）

事業費： 242,581 千円（ 242,784 千円）

農業用排水路や農道など農業施設の機能維持活動と当別町景観計画に基づく農村景観の向上活動に取り組む活動組織の事業経費に対する交付金。

事業経費は、町のほかに国や北海道も負担している。

○道営森林管理道曾根の沢線開設事業（新規）

事業費： 7,000 千円（ 0 千円）

間伐適齢期を迎えた森林の整備を進め、持続的な間伐材の販売を促進し、未整備森林の解消による山地保全の安定化を図るため、道営事業により林道を開設する。

【 商 工 課 】

○企業立地促進事業（継続）

事業費： 800 千円（ 800 千円）

地域経済に高い波及効果をもたらす企業誘致を実現させるため、ＪＡ・商工会と連携し誘致活動を実施する。

○中小企業特別融資制度（継続）

事業費： 33,685 千円（ 33,685 千円）

中小企業の経営基盤安定化を図る施策の一環として、町内３金融機関へ預託（３０百万円）運用し、資金融資の利便性を向上させ事業を実施する。

【 建 設 課 】

○除排雪事業（継続）

事業費： 260,000 千円（ 248,000 千円）

冬期間において、地域住民の協働参加の中で、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行う。

また、除排雪した雪を処理できるよう、町内の主要地域において雪捨て場を確保する。

○除雪機械購入事業（新規）

事業費： 36,000 千円（ 0 千円）

町有車両の老朽化等により、除雪体制の維持が困難な状況が生じていることから、適切な保有台数を確保し委託業者に貸与することで、除排雪車両体制の強化を図る。

○町道中央十九線防雪柵設置事業（継続）

事業費： 20,000 千円（ 40,000 千円）

冬期間の吹雪による視界不良や吹き溜まりによる車両の立ち往生が多発していることから、防雪柵の設置により安全な通行を確保する。

○町道高岡中央線歩道新設事業（継続）

事業費： 20,000 千円（ 17,000 千円）

当該路線は歩道がなく、カーブや傾斜のため見通しが悪く危険な状況であることから歩道を整備し、安全な通行を確保する。

○道路ストック総点検事業（継続）

事業費： 60,000 千円（ 15,000 千円）

道路施設の老朽化が今後一斉に進むことから道路施設の点検を実施し、計画的な修繕をすることで安全な通行を確保する。

○橋梁長寿命化事業（継続）

事業費： 13,000 千円（ 37,000 千円）

道路橋の老朽化が今後一斉に進むことから道路橋の点検を実施し、計画的な修繕を実施することで安全な通行を確保する。

○公園施設長寿命化事業（継続）

事業費： 1,000 千円（ 0千円）

公園施設の老朽化が著しいことから公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な更新・修繕を実施することで公園施設の充実を図る。

○公営住宅長寿命化事業（継続）

事業費： 8,382 千円（ 21,374 千円）

当別町町営住宅長寿命化計画に基づき東町団地長寿命化改善設計及び、ひまわり団地移転事業を行い、町営住宅の運営の健全化を図る。

【 教育委員会 管理課 】

○小中一貫教育推進事業（継続）

事業費： 634 千円（ 1,474 千円）

小中一貫教育初年として、義務教育9年間の学びの連続性を踏まえた教育課程による指導のほか、小学校第6学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業等、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図る。

○小中一貫教育推進講師配置事業（継続）

事業費：9,616 千円（ 4,620 千円）

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師（非常勤）」を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

○コミュニティ・スクール運営事業（新規）

事業費：573 千円（ 0 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校」づくりを推進する。

○小中学校芸術鑑賞事業（継続）

事業費：500 千円（ 500 千円）

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校で芸術鑑賞を行う。

○各小中学校英会話指導助手配置事業（継続）

事業費：4,476 千円（ 4,628 千円）

小学校低学年から英語に親しみ、幼稚園・保育所からの継続的な英語教育の充実を図るため、小学校1年生から4年生までを年間10時間、5年生から6年生までを年間35時間、中学生を年間9時間とし、外国人講師による英会話指導助手を各小・中学校へ派遣する。

○ICTを活用した教育環境向上事業（継続）

事業費：985 千円（ 2,483 千円）

効果的な授業の工夫・改善を図るため、平成28年の中学校導入に続き、各小学校の4年生から6年生用に国語と算数のデジタル教科書を購入する。

○学校施設改修事業（継続）

事業費：21,500 千円（ 3,000 千円）

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別小学校の屋根を改修する。

○学校給食センター改修事業（継続）

事業費：23,922 千円（ 31,990 千円）

機械設備及び厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

【 教育委員会 社会教育課 】

○学校を核とした地域力強化プラン事業 （継続）

事業費： 3,280 千円（ 3,221 千円）

地域住民等がボランティアとして参画し、様々な学校の支援活動を行う学校支援地域本部事業や児童・生徒の家庭学習支援として放課後学習会、土曜学習会や小学生が英語に馴れ親しむ事業を継続実施して、子ども達の教育の充実を図る。実施経費は、国・道・町がそれぞれ1／3を負担する。

○社会体育施設等指定管理事業 （継続）

事業費： 42,374 千円（ 41,904 千円）

民間活力を生かし、住民サービスの向上を図るため、当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター及び当別小学校水泳プールについて指定管理者制度を継続する。

【 教育委員会 子ども未来課 】

○子育て支援センター運営事業 （継続）

事業費： 2,888 千円（ 2,231 千円）

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流の促進、子育て関連情報の提供、子育て相談等の実施に加え、新たに他世代との交流を推進することで、地域との協働により子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

○放課後児童対策事業(子どもプレイハウス) （継続）

事業費： 18,097 千円（ 18,079 千円）

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等における保育サービスの提供及び学習支援の実施により、児童の健全育成及び学力向上を図り、子育て支援の充実に寄与する。

○教育・保育施設等給付事業 （継続）

事業費： 120,664 千円（ 131,260 千円）

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。

○ふとみ保育所業務民間委託事業（継続）

事業費： 100,393 千円（ 98,915 千円）

当別町幼稚園・保育所計画に明記されているとおり、多様化する教育・保育ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、ふとみ保育所の運営について民間活力を導入し、引き続き業務委託を行う。（公設民営方式）

○子ども発達支援センター運営事業（継続）

事業費： 19,815 千円（ 18,947 千円）

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行うほか、関係機関等とも連携し効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。

【 当別消防署（負担金） 】

○小型動力ポンプ付積載車整備事業（新規）

事業費： 9,804 千円（ 0 千円）

現在消防署で使用している小型動力ポンプ付積載車の更新を図り、車検時等の車両の代替え車両として多用途に運用を図り、各種災害等における住民の需要に対し安全に対応することができる体制を維持する。

○当別消防団第8分団詰所(対雁)外壁等修繕事業（新規）

事業費： 1,676 千円（ 0 千円）

当別消防団第8分団詰所（対雁）は、築56年、また直近の改修後20年を経過し、外壁等の劣化が著しく、塗装及び修繕等を実施することにより、今後における耐久性を維持する。

○消火栓工事事業（継続）

事業費： 1,211 千円（ 1,189 千円）

火災発生時の警防力を効果的に発揮するため、太美地区に消火栓の新設工事を実施する。

◆ -----
☆平成 28 年度当初予算計上 終了・廃止等の主な事業

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ● 当別消防団第6分団詰所（弁華別）屋根塗装外修繕事業 | 1,188 千円 |
| ● 高規格救急自動車整備事業 | 34,454 千円 |
| ● アナログサイレン機器撤去工事 | 436 千円 |

◆ -----
☆平成 28 年度予算 繰越事業

- | | |
|--------------------|-----------|
| ● 個人番号カード交付事業 | 1,332 千円 |
| ● 臨時福祉給付金支給事業 | 66,464 千円 |
| ● 森林総合研究所分収造林地整備事業 | 9,074 千円 |